予算に対する討論

平成25年度予算は、起立多数をもって原案可決されました。6名の議員が各会派を代表して、同予算に対する賛成討論、反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

志政会　賛成

一般会計予算と４特別会計予算について賛成します。

▽「選択と集中」で編成された25年度予算は過去最大規模になりました。「選択と集中」ではなくてこれまでの「選択と拡大」の繰り返しが積もり積もった最大規模膨れ上がった予算です。▽行政でいう「選択と集中」とは、各分野で事業を取捨選択し、事業着手の順位を決めることと認識します。▽子ども医療費助成事業、市民活動健康増進施設建設事業、大型防災備蓄倉庫の建設、海老名駅西口土地区画整理事業など市民生活に直結した予算を評価します。▽職員数と人件費率の観点から、現在の事業規模を支えるだけの人材が確保されているのか疑問です。▽予算執行に当たっては、海老名市自治基本条例に規定されているとおり、市民との協働を忘れぬようお願いします。▽市債残高が県内一少ないこと、臨時財政対策債を活用しないことが本市の誇りです。臨時財政対策債に頼り、基金と市債のバランスを考えて起債を増やすという借金肯定の論調については不安があります。慎重な対応を要望します。

市政改革の会　賛成

一般会計と４特別会計予算について賛成します。

▽景気が低迷する中、大型予算を作り元気な海老名を継続する予算とされた努力に謝意を表します。▽市債の大幅な増加や新まちづくり基金残高の減少は海老名駅周辺の大規模事業等からやむないところで、財政指標などの面から懸念はないが、深堀しすぎは避けるべきです。▽コミュニティセンターの大規模改修は老朽化や震災対策等から優先度は認めます。▽生活保護費支給事業費は従前の伸び率より大幅に減少しているが、真に必要な方は手厚く保護する必要があります。不正受給防止には努めていただきたい。▽市民後見人養成事業を近隣市に先駆けて実施することは時代のニーズに合った良い事業だと高く評価します。▽農業振興策は、北部に農業拠点施設整備や畦畔除去工事などの計画は理解するが、多くの農業者が満足できる施策も検討していただきたい。▽地方分権により職員は権限の移譲等で事務量の増加や専門性も要求されています。▽海老名駅西口を中心としたまちづくりも始まります。適正な執行と行政サービスの向上を期待します。

創新海クラブ　賛成

一般会計予算と４特別会計予算について賛成します。

▽東日本大震災を契機に危機管理課が設けられ、防災カメラの設置などで敏速、的確に対処できる体制が整いつつあります。▽まちづくりの正念場の今、臨時財政対策債の活用も必要と考えるが、そのバランスには留意いただきたい。▽ＩＣＴのさらなる推進、中学校３年生までの医療費助成を継続することを評価します。▽いじめのない学校づくりを推進するため、いじめ対策を統括する指導主事と各中学校に非常勤講師を１名配置するなどきめ細かな対策を評価します。▽企業立地促進事業の充実や農業基盤整備事業に力を注ぐことを評価します。▽フロア案内や一部窓口業務の委託化によりさらに市民サービスの向上に寄与することを望みます。▽第四次総合計画後期基本計画にある６つの集中戦略プロジェクトを計画どおり実行することが、将来都市像「快適に暮らす魅力あふれるまち海老名」の実現につながると期待します。▽各委員会の審査における提言や要望を積極的に取り上げることを要望します。

公明党　賛成

一般会計予算と４特別会計予算について賛成します。

▽東日本大震災からの復旧・復興、安心安全なまちづくり、少子高齢化に対する社会保障関係経費の増加、さまざまな行政需要の高まりで多くの自治体は厳しい行政運営を強いられる中、本市は将来都市像の「快適に暮らす魅力あふれるまち海老名」を目指し、まちづくりの新たなステージに突入します。その将来都市像を具現化すべく積極果敢な予算編成を断行した内野市政を評価します。▽今しか投資できない事業を見極め、いわゆる「選択と集中」の取り組みを高く評価しますが、一方で、選択されなかった事業も今後の実施に向け努力することを要望します。▽公務員の給与引き下げは、国民受けするが、交付金削減による地方公務員の給与削減は、地方分権に逆行し納得できません。神奈川県市長会の会長としての立場はあると思いますが、理不尽とも思える国のやり方に、論陣を張ることを要望します。▽堅実な予算執行を要望します。▽あらゆる分野に目配りし、持続可能な行財政を視野に入れた25年度予算を大いに評価します。

市民・ネットの会　反対

25年度一般会計予算に反対します。

▽市民が安心して住み暮らせるまちづくりのために、今こそ税金の使い方・優先順位のつけ方が問われています。▽いじめのない学校づくり、安全安心子どもパトロール事業、歩道のバリアフリー化、空き地・空き家の適正管理に関する条例制定に向けた調査などは評価できます。▽電子黒板・電子教科書の充実や校庭芝生化事業は、実態を調査した上で取り組むべきです。▽住宅リフォーム助成事業そのものには賛成ですが、当初予算が今までの実績を考慮せずに組まれ補正予算を繰り返す事業執行は計画行政とはいえません。▽市役所総合窓口業務の民間委託は職員が市民の声を聞く機会を失うことになり、民間に委託する業務の再定義が必要です。▽普通建設費が前年比33％の増加となる西口開発に一極集中した予算は、基金の減少、市債の増加になり、次代への負担が懸念されます。▽目前に迫った少子高齢社会に向けて多様な働き方を支援する子育て支援、地域で高齢者や障がい者を支える包括支援サービスの充実を切望します。

共産党　反対

国民健康保険事業、下水道事業、介護保険事業特別会計予算に対して賛成しますが、一般会計予算と後期高齢者医療事業特別会計予算に対して反対します。

▽各予算案において福祉・医療、教育・子育て支援、地域経済振興などの分野における先進的な施策に加え、これまで要望してきた高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成の開始による疫病予防施策やＬＥＤ照明を新たに対象とする環境保全施策の分野、防災体制の強化など高く評価できる部分も多くあります。▽今年度からの国民健康保険税と介護保険料、後期高齢者医療保険料の同時引き上げによる大幅な負担の増大など市民にとって大変厳しい家計状況が長く続いています。▽約30億円もの税金を使う海老名駅西口土地区画整理事業などに引き続き多額の税金が投入されようとしています。▽限りある貴重な税金は、住民合意のない不要不急の大規模開発事業に使うのではなく、市民の暮らしと命、地域経済を守るさまざまな施策に対して、優先して振り向けるべきです。

平成25年度　各会計別予算総括表（金額の単位は千円）

会計名		平成25年度当初予算額	平成24年度当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計		39,124,000	36,870,000	2,254,000	6.10%
特別会計	国民健康保険事業	13,415,121	13,307,605	107,516	0.80%
	下水道事業	3,040,445	2,796,393	244,052	8.70%
	介護保険事業	5,915,359	5,541,359	374,000	6.70%
	後期高齢者医療事業	1,142,062	1,075,140	66,922	6.20%
	小計	23,512,987	22,720,497	792,490	3.50%
合計		62,636,987	59,590,497	3,046,490	5.10%

請願・陳情の提出について

請願と陳情は、いつでも受け付けていますが、**５月22日（水）の午後５時15分までに**提出されますと、６月定例会で審査または議員配布されます。（それ以降の提出は、原則として次回定例会の取り扱いとなります。）

詳しくは議会事務局まで、お問い合わせください。

議会改革について

前号でお知らせしましたとおり現在市議会では市民により信頼され、開かれた議会を目指すため、議員自ら議会改革について検討しています。検討にあたっては議会改革検討会を中心に、「透明性のある開かれた議会」「議会運営」「議会のあり方」の３つのワーキンググループに分かれ議論しています。全議員がいずれかのグループに属しており、グループで議論された結果は、議会改革検討会、議会運営委員会での議論を経て、最終的に議長に答申することとなっています。

改革にはスピードが必要なことから、議論したすべての結論が答申される前に改革できるところから着手することになりました。

▽すでに行っている取り組み

○会議結果の公開を会派別から個人別へ変更

○議案書のホームページ公開、ダウンロード可

▽今後の取り組み予定

○議会だよりのＡ判化

○一般質問発言時間の変更　など

さらに開かれた議会を目指し議会改革を推進していきます。今後も本紙で議会改革の進捗について報告していきます。

熱い議論を交わす議会改革検討会